

霧島市地域公共交通網形成計画推進に係る
事業報告

平成31年2月8日
霧島市地域公共交通会議

(1) 地域公共交通のサービス見直し

① ふれあいバスのサービス見直し

計画概要 計画 P101

運行ルートの見直しや路線バスとの乗り継ぎ利便性を高めるようなサービスの改善を行う。特定の路線・地区については、利用促進策を実施するとともに、持続的な移動手段の確保に向け、沿線住民の理解・納得のもと、運賃の値上げやデマンド交通の導入など他の移動手段も検討

実績

地域住民等の要望に応じ次の見直しを実施した。

- 溝辺ふれあいバス「溝辺～隼人駅線」の見直し【H30. 5. 2～】
 - ・ 玉利バス停の新設、木之房停留所移設、第3便の時刻変更
- 国分ふれあいバス「木原小中学校線」の見直し【H30. 5. 7～】
 - ・ 下校便の運行時刻の変更
- 国分ふれあいバス「平山・塚脇小学校線」の見直し【H30. 5. 7～】
 - ・ 運行ルート変更によるバス停の追加
- 牧園ふれあいバス「川影線」の見直し【H30. 7. 2～】
 - ・ 路線の延長

(1) 地域公共交通のサービス見直し

② 路線バスのサービス見直し

計画概要 計画 P105

➤ 「国分駅」及び新たな霧島市の玄関口となる「隼人駅」を拠点としたバスネットワークの効果的な見直し

市内最大の乗降客数を誇る国分駅と、今後整備が行われ霧島市の新たな玄関口となる「隼人駅」を拠点としたバスネットワークの効果的な見直しを検討する。

なお、見直しについては、利用者の利用目的や収支状況などで路線の色分けを行うとともに、路線の重複状況や利用者の特性などを考慮した上で、運行形態も含めた路線の再編や、需要に応じたサービス水準の見直し、新たな需要の掘り起こしなどを中長期的に進めていく。

実績

平成29年度に実施した市街地循環バス及び隼人国分循環バスへの乗り込み、利用者ヒアリングをもとに、市街地循環バスの具体見直し案を作成した。

なお、見直し案を作成するに当たっては「分かりやすさ」「乗り継ぎのしやすさ」「便利さ・活用しやすさ」を基本コンセプトとした。

※見直し後の運行開始日については2019年10月を予定（本公共交通会議での承認が前提）

	内回り系統	外回り系統
運行日	毎日運行	月～土運行
運行便数	月～土：20便（左回り10便、右回り10便） 日・祝：8便（左回り4便、右回り4便）	月～土：10便（左回り5便、右回り5便） 日・祝：運休
運賃	1回200円の均一運賃とする。 ※分かりやすく、手軽に乗車できる料金体系にすることにより、利用促進を図る。	

(1) 地域公共交通のサービス見直し

② 路線バスのサービス見直し

計画概要 計画 P105

- 丸尾バス停を拠点とした、観光客の観光回遊を促進する周遊バスサービスの導入
観光周遊に資する路線バスルートの見直しや新たな移動手段の確保など、丸尾バス停を拠点とした観光客の観光回遊を促進する「周遊バスサービス」を検討・実施する。

実績

観光客及び近年増加している外国人観光客の受け入れ体制の整備として、路線バスが運休となる土日祝日に、主要交通機関から観光地へのアクセスの充実を図るために実証運行を行っていた霧島周遊観光バスの見直しを行い、新たに海コースを設定し、実証運行を平成31年度まで継続することとなった。

- 見直し後の運行開始日 平成31年1月12日（土） ※土・日・祝日のみの運行
- 主な乗入施設 山コース 日当山西郷どん村、西郷公園、嘉例川駅、塩浸温泉龍馬公園、丸尾（霧島温泉市場）、霧島神話の里公園、霧島神宮
海コース 鹿児島神宮、日当山西郷どん村、福山黒酢、上野原縄文の森、ハイテク展望台
- 運賃 大人1,100円（小人半額）・霧島「のったりおりたりマイプラン」で乗車可能



※横向き座席で景色を見ながら観光できる九州初導入の車両

(2) 地域公共交通の利用促進

① 公共交通啓発チラシや広報誌等の活用、地域公共交通の利用実態報告の検証

計画概要 計画 P107

公共交通啓発チラシや市の広報誌等を活用し、鉄道やバス等の各種情報などを広く周知していくことで地域公共交通の利用促進を図る。

実績

■霧島市議会だよりの8月号において、ふれあいバス及びデマンド交通の利用促進に係る全2ページの特集を組み、公共交通利用促進の啓発を図った。

■特定の地域から病院、買い物施設等、市内の主要な施設へのふれあいバスでのアクセスについて、高齢者でも一目で分かるようなチラシを作成し配布を行った。

◇実施地域⇒牧園町井田水、母ヶ野、栗川地区 計60世帯へ配布

「デマンド交通とは?」 「デマンド交通の利用の仕方?」

「デマンド交通を利用するには、まずは登録!」

「デマンド交通ご利用の流れ」

「デマンド交通予約先」

「利用状況」

「ふれあいバスとデマンド交通の連携?」

「ふれあいバスとデマンド交通の乗り方?」

「ふれあいバスとデマンド交通の利用料金?」

「Special edition」

「皆さんはご存知ですか?」

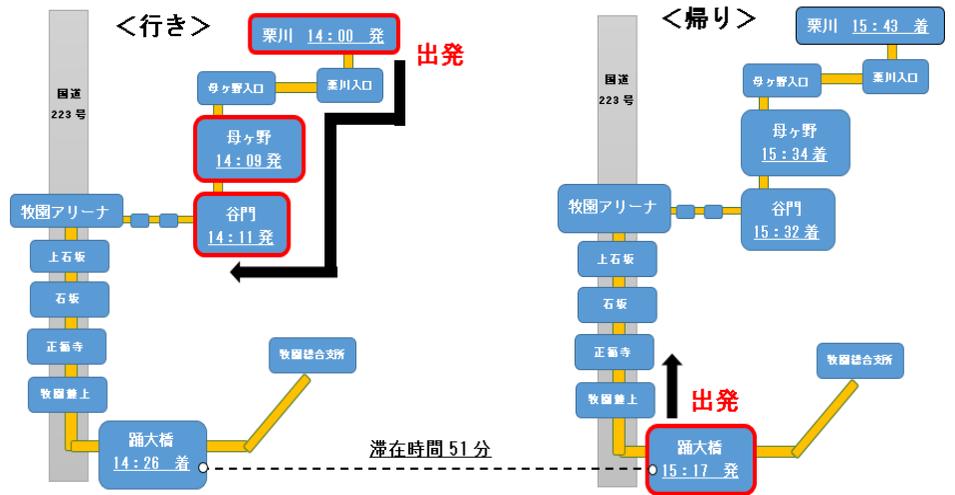
「ふれあいバスとデマンド交通」

「ふれあいバスとデマンド交通の連携?」

「ふれあいバスとデマンド交通の乗り方?」

「ふれあいバスとデマンド交通の利用料金?」

ふれあいバスによる「牧園麓周辺」往復 利用例 <火曜日のみ>



◇議会だよりによる特集

◇公共交通啓発チラシ

(2) 地域公共交通の利用促進

③ 交通結節点となるバス停の新設や改善など

計画概要 計画 P108

交通結節点のダイヤ調整、分かりやすい案内表示及び情報提供、バス待ち環境の改善など、交通結節点において円滑に乗継ができる環境整備などを行う。

実績

霧島市内の主な交通結節点である、次の8つのバス停を起点（現在地）としたバス路線マップ（バスがどの方面に運行しているか一目で分かるような路線図）を作成した。

- 国分山形屋前、国分（鹿銀前）、霧島市役所前（庁舎側）
霧島市役所前（駐車場側）、国分駅（構内）
隼人駅（そうしん前）、隼人駅（ロータリー側）
隼人駅（ロータリー内）

※平成31年2月末をめどに設置予定

＜設置看板イメージ＞



バス路線マップ設置予定箇所



⑦隼人駅(ロータリー側)



⑤国分駅(ロータリー内)



③霧島市役所前(庁舎側)



①国分(鹿銀前)



⑧隼人駅(そうしん側)



⑥隼人駅(ロータリー内)



④霧島市役所前(駐車場側)



②国分山形屋前

(2) 地域公共交通の利用促進

④ 住民座談会等を通じた直接的コミュニケーションによる利用促進活動の実施

計画概要 計画 P109

住民座談会や市が実施する出前講座等を通じて、市民の皆さんと直接コミュニケーションを取り、路線バスやふれあいバスの利用促進に向けた取組を行う。

実績

■ 「みんなで乗ろう！コミュニティバス」と題し、牧園町高千穂7区のひまわり会の方々を対象とした講座を実施した。「市内のふれあいバス等の現状や乗り方」について説明し、ふれあいバス等を利用した「おでかけモデルコースの紹介」を行った。また、市役所まで来られる際のバス行程を提示し、牧園の「牧場バス停」から「霧島市役所前バス停」まで、路線バスとふれあいバスを乗り継いで来庁していただいた。日 時：平成30年11月13日 場 所：霧島市役所別館2階 会議室 ※10名参加

パターン2 医師会医療センターまでのコース①《火・木》 (行き:路線バス 帰り:ふれあいバス)



3 ふれあいバスの乗り方について

① 車両

29人乗りの下図の車両で運行しています。※座席数は17



② 停留所

下図のような停留所から乗車できます。



③ フリー乗降区間について

時刻表のピンク帯の区間は、停留所以外でもバスに乗り降りできます。

※ただし、乗り降りが可能な場所はバスのルート上のみです。

6 万歳コース(火・金)

車種/車番	1区	2区	3区	4区	5区
350 踏大橋	12:53	14:3	351 万歳小	7:48	
355 牧園小	12:56	14:3	352 踏大橋	7:50	
350 ひばりヶ丘	12:57	14:3	354 水産	7:52	
349 水産	12:58	14:4	355 清谷公園	7:56	
348 七原	13:00	14:4	356 野村	8:03	
393 藤原通	13:01	14:4	357 野村入口	8:04	
357 野村入口	13:06	14:48	358 フコウ	8:06	
356 野村	13:07	14:48	359 藤原通	8:08	
355 清谷公園	13:12	14:54	349 水産	8:11	
354 水産	13:14	14:56	350 ひばりヶ丘	8:13	
342 水産	13:18	15:00	355 牧園小	8:14	

出前講座の資料の一部

(2) 地域公共交通の利用促進

⑤ 公共交通に関する総合的な情報発信・PRの強化

計画概要 計画 P109

地元住民のみならず、観光客をはじめとする交流者に対する公共交通の情報発信・PRの強化を実施する。例えば、「霧島遊めぐりバスマップ」や「霧島『のったりおりたりマイプラン』バス1日乗車券」などの企画運賃などの総合的な情報発信・PRを強化する。

実績①

「霧島周遊観光バス」、「バスを使ったモデルコース」、「交通アクセスを含めた主要観光施設の案内」及び「路線バス時刻表」等を掲載したリーフレットを作成し、空港、JR駅、観光施設等に設置した。また、霧島周遊観光バスのチラシについては、観光施設等のほか、市内の主要ホテルに配布し、客室への設置を依頼した。

<きりしまバス旅リーフレット>



霧島ゆ巡り旅 ~多様な泉質が揃う温泉地~

霧島市には大小様々な温泉地があり、温泉郷だけでも4つあります。源泉かけ流しの天然温泉は足湯や飲泉湯なども気軽に楽しむことができます。

霧島温泉郷

丸尾など

天然湧出低硫黄の硫黄山の麓から、静けしいお湯がこんこんと湧いています。静かに楽しめる真っ白な湯けむり。個性豊かな泉質を楽しむながら、大自然に癒される心地良さをたのびましょう。



日当山温泉郷

木ノ原など

低硫黄で湯も古い温泉といわれ、西郷隆盛もよく利用した温泉郷です。昔から温泉客の聖地として栄えてきた日当山。温泉の目撃地は、天狗川の清流の畔で広がり、20数軒の旅館・公衆浴場・家庭湯が並びます。



【路線バス】遠くまで路線バスをすぐにチェック！

- 鹿児島交通 鹿児島空港方面
- 鹿児島交通 霧島神宮方面
- 鹿児島交通 霧島温泉郷方面
- 鹿児島交通 霧島温泉方面
- 鹿児島交通 霧島温泉方面
- 鹿児島交通 霧島温泉方面

霧島神宮温泉郷

霧島神宮など

観光といえば「温泉」。鹿児島の温泉ファンからも高い評価を受けています。霧島神宮を中心としたため観光にも便利。霧島山の山頂、標高800mの池之野温泉を源泉とした歴史ある温泉郷です。



妙見・安楽温泉郷

妙見温泉、安楽など

天降川のせせらぎを聞きながら、深い森に囲まれた静かな温泉を堪能することができます。自然豊かな環境に恵まれています。温泉水質は、お肌の不要な皮脂を洗い落とす効果があります。



<周遊観光バスチラシ>

(2) 地域公共交通の利用促進

⑤ 公共交通に関する総合的な情報発信・PRの強化

実績②

霧島市内の交通結節点における外国人観光客向けの2次アクセス情報が不足していたため、英語版バスルートマップを作成し、次のとおり設置等を行った。(H30.7)

■マップへの掲載情報

<MAP1> 以下のアクセスに係る移動距離、所要時間及びバス出発時刻

「霧島神宮駅」から霧島神宮、霧島温泉駅、丸尾温泉、鹿児島空港、国分駅まで

「丸尾温泉」から霧島神宮駅、鹿児島空港、霧島温泉駅まで

「霧島温泉駅」から丸尾温泉、霧島神宮駅まで

「鹿児島空港」から丸尾温泉、大隅横川駅、嘉例川駅、隼人駅まで

「隼人駅」から鹿児島空港、鹿児島中央駅まで

MAP1 国分駅以外の交通結節点に設置



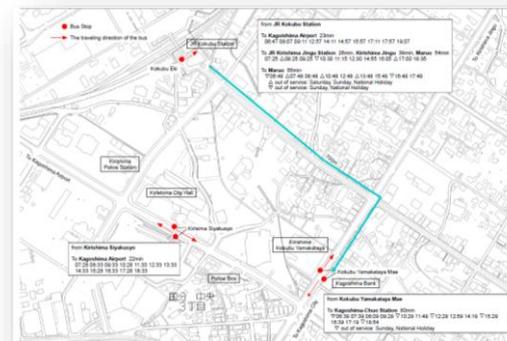
<MAP2> 以下のアクセスに係る所要時間及びバス出発時刻

「国分駅」から鹿児島空港、霧島神宮駅、丸尾まで

「霧島市役所」から鹿児島空港まで

「国分山形屋前」から鹿児島中央駅まで

MAP2 国分駅に設置



■設置場所

「国分駅」「隼人駅」「霧島神宮駅」「霧島温泉駅」「霧島神宮観光案内所」「観光協会(丸尾温泉市場内)」「霧島PRブース(鹿児島空港内)」「鹿児島空港総合案内」

(2) 地域公共交通の利用促進

⑥ モビリティ・マネジメント・プログラムの実施

計画概要 計画 P110

市民が公共交通を利用してみようという意識を地域ぐるみで推進することを目的に、地域住民や市内の学生などを対象としたモビリティ・マネジメント施策を推進し、公共交通の利用促進を図る。

実績

市民と行政が一体となって、地域公共交通の維持確保について共に考え、取り組むきっかけの一つとして、「きりしまノーマイカーウィーク」を実施した。

期間中に公共交通を利用された方に、様々な特典を設けるなどし、積極的な公共交通利用の呼びかけを行った。【実施期間 平成30年10月29日（月）～11月4日（日）】

*イベント特典の一つであるふれあいバス無料乗車券の利用率等（H30. 10. 29～11. 4）

	乗車人数	無料乗車券利用者数	利用率
国分	675	191	28%
溝辺	105	103	98%
横川	206	102	50%
牧園	84	17	20%
霧島	108	1	1%
福山	140	25	18%
合計	1,318	439	33%

公共交通機関を使う1週間



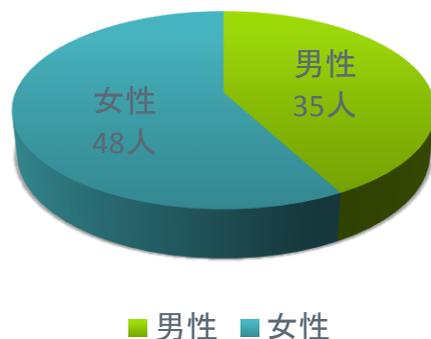
市 は二酸化炭素排出量の削減と公共交通機関の利用を促すノーマイカーウィークを10月29日から11月4日まで実施。期間中、ふれあいバスの運賃が無料となるカードを利用する人などが見られました。

← 実施後の広報きりしま12月号記事

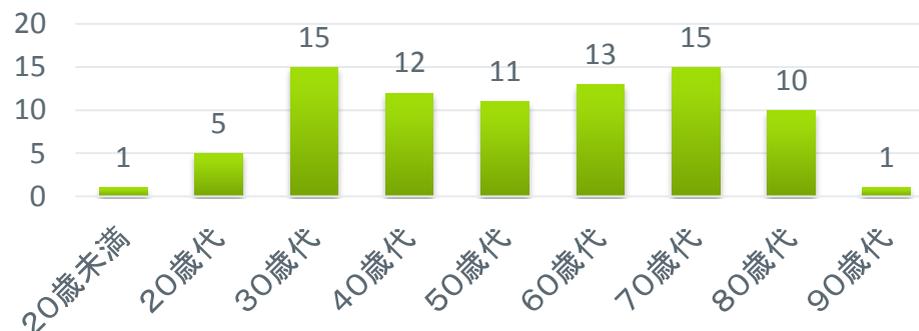
ノーマイカーウィークアンケート結果 ①

▶ アンケート回答者数 83名 (アンケート受付期間 10月29日～11月9日)

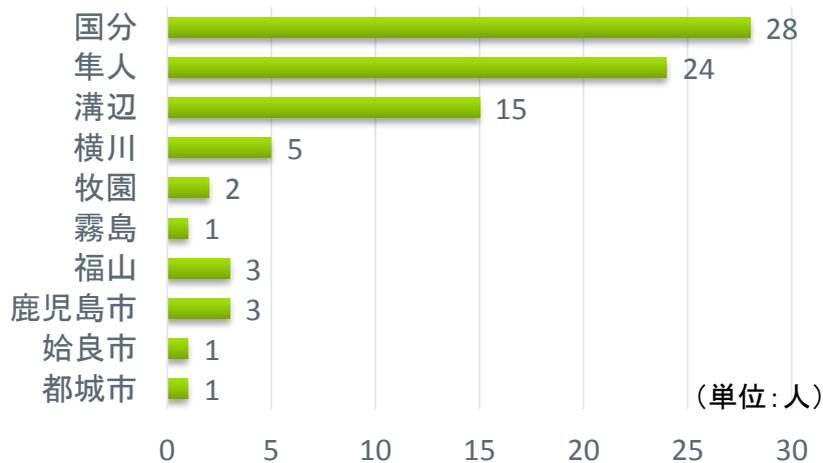
性別 N=83



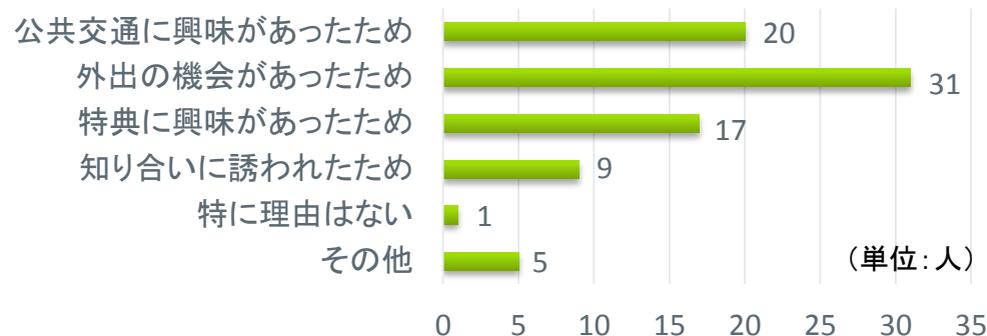
年齢 N=83



居住地 N=83

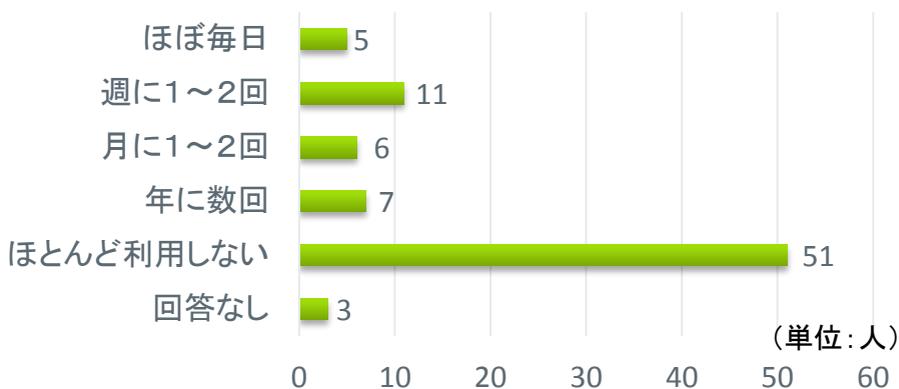


ノーマイカーウィークになぜ参加しようと思いましたか？ N=83

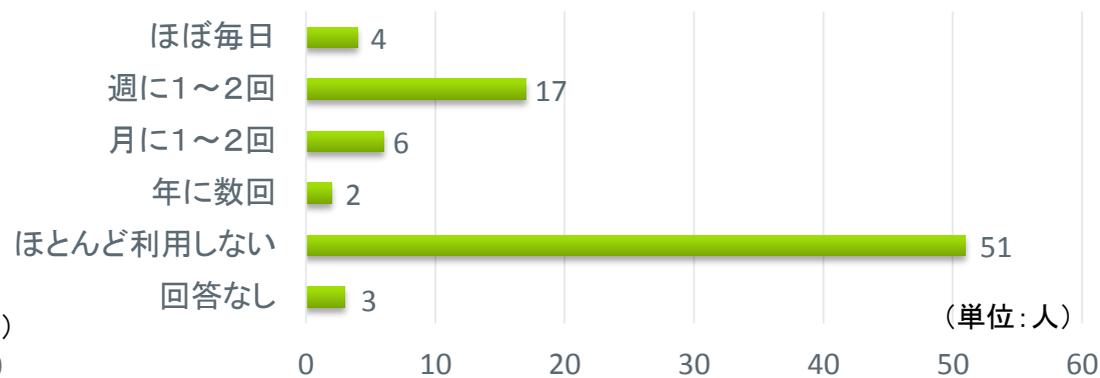


ノーマイカーウィークアンケート結果 ②

路線バスの利用頻度 N=83



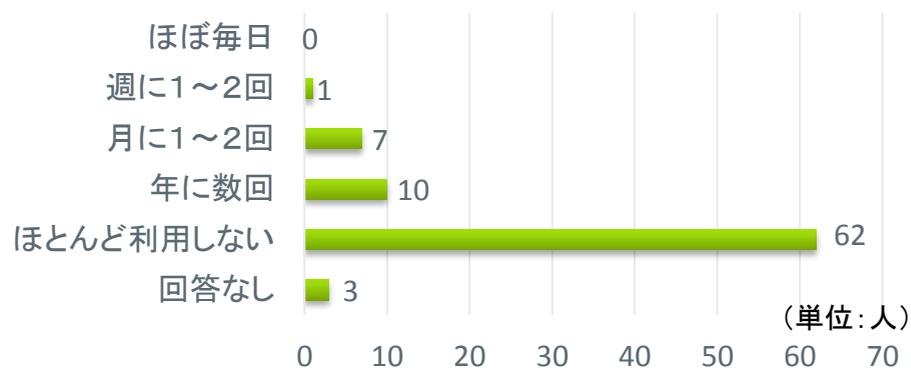
ふれあいバスの利用頻度 N=83



JRの利用頻度 N=83



タクシーの利用頻度 N=83



ノーマイカーウィークアンケート結果 ③

➤ 主な意見等は次のとおり

- ・路線バスが運行していることに感謝している。(70代女性)
- ・ふれあいバスはよく利用する。隼人にもふれあいバスを走らせてほしい。(60代女性)
- ・バスが昼間は定刻に来るが、夕方の便(特に鹿児島から来る便)は遅れる。どうにかならないか。(80代女性)
- ・大型のバスをやめて、小さなバスを増やしたほうがよいと思う。(70代女性)
- ・自宅からバス停まで遠いため利用しにくい。(70代男性)
- ・買い物後の帰りの便は荷物が重いため、決められたバス停ではなく自宅近くで降ろしてもらいたい。(70代女性)
- ・ふれあいバスは絶対になくさないでほしい。(70代女性)
- ・ふれあいバスに乗る機会ができたので、ありがたかった。(70代女性)
- ・JR、バスどちらでも使えるICカードを希望する。
JRもラピカのように積み増した時、1割多く積み増すことができればよい。(30代女性)
- ・JRが走っているため毎日とても助かっている。(10代男性)